

いきいきボッチャ交流大会

(令和7年度軽スポーツレクリエーション大会)

開 催 要 項

1 目 的

障害の有無によって分け隔てられることなく、仲間と気軽に楽しく参加できる軽スポーツレクリエーション大会を実施することにより、障害者の社会参加及び相互交流の促進を図ることを目的とします。

2 名 称

いきいきボッチャ交流大会（令和7年度秋田県軽スポーツレクリエーション大会）

3 主催

秋田県

4 実施主体

社会福祉法人 秋田県身体障害者福祉協会

5 協力団体

秋田県ボッチャ協会

秋田県障害者スポーツ協会

6 開催日時・会場

日時：令和7年7月26日（土） 9：30 ～ 15：30（受付開始9：00～）

※参加チーム数や競技時間等によって、終了時間が変更となる場合があります。

会場：秋田県社会福祉会館 「2階体育館」及び「展示ホール」

7 参加資格

1 グループを3名～6名のメンバーで構成し、障害の有無に関わらず誰でも参加できますが、参加希望チーム多数の場合は選考させていただきます。（身障協会の会員限定ではありませんので、チームを組んでどなたでも参加できます。）

8 参加申込

所定の申込書に必要事項を記入のうえ、6月30日（月）まで大会事務局に持参、メール、FAXまたは郵送で提出してください。※応募者多数の場合は選考させていただきます。

9 参加費

参加費は無料です。

10 表彰

1位～3位のチームには競技終了後、表彰を行います。

賞品 / 参加賞

1位～3位には、賞状および賞品を贈呈し、参加者全員に記念品をお渡しします。

11 実施競技

ボッチャ競技を「交流大会（ローカル）独自ルール」で行います。

1チームにつき、3名から6名までの選手を登録できます。1ゲームは、2チームがそれぞれ3名ずつ出場し、計6名で行います。登録した選手の中であれば、エンドの合間のみ選手交代が可能です。

【詳細については、15「交流大会（ローカル）独自ルール」を参照してください】

12 健康・安全管理

参加者（大会関係者を含む。）については、大会事務局で傷害保険に加入します。

大会中の健康管理については、会場で看護師が応急処置のみを行いますので、各自、健康保険証（マイナンバーカード）をご持参ください。

13 大会事務局

社会福祉法人秋田県身体障害者福祉協会 秋田市旭北栄町1番5号（秋田県社会福祉会館内）

TEL：018-864-2780 携帯：080-3336-2780（当日のみ）

大会当日は、事務局に電話すると携帯へ自動転送します。

FAX：018-864-2781

メール：infoakita@mua.biglobe.ne.jp

14 その他

- ① ケガなどの事故防止のため、必ず「運動に適した服装」と「運動靴（内履き）」で参加してください。ただし特別な事情がある場合はその限りではありません。
- ② 熱中症防止のため、こまめな水分補給を各自お願いします。
- ③ マスクの着用は個人の判断に委ねます。発熱や咳などの症状がある方は参加を控えてください。
- ④ 希望者には昼食のお弁当を斡旋しますので、参加申込書の昼食申込欄に必要事項を記入のうえ提出してください。
- ⑤ 社会福祉会館の駐車場に限りがありますので、車で来られる場合はできるだけ乗り合いでお越しいただきますようお願いします。
- ⑥ 大会当日、主催者が撮影した写真などの一部は、大会結果とあわせてホームページや SNS、機関誌などに掲載されることがあります。また、報道機関による取材により、写真や映像が報道される場合もありますので、あらかじめご了承のうえご参加ください。

15 交流大会（ローカル）独自ルール

〔競技規則〕

- ① 3～6名の選手登録ができます。4名以上登録しているチームの場合、選手交代を認めます。ただし、交代はエンド間のみとします。（選手交代はチーム代表者が行ってください）
- ② 1チーム3名ずつ出場し、的となるジャックボール（白ボール）に向かい、1チーム6個のボール（赤または青）を、1人2球ずつ投げて得点を競います。
- ③ 両チームが6球投げ終えた時点で、審判が得点を確認します。この流れを「1 エンド」とし、4エンド行い勝敗を決めます。なお、決勝トーナメントは6エンドで行います。
- ④ 今大会はチームで戦い、予選は各コート毎のリーグ戦で、決勝は各リーグ1位によるトーナメント形式で行います。
- ⑤ ボール色の変更は競技中にはできません（原則先攻チームが赤ボール）。開始前に代表者によるジャンケンで先攻、後攻を決定し、ゲームを開始します。
- ⑦ 立位、座位などの投球姿勢の指定はありません。投球や移動に関して補助が必要な場合は、試合開始前に審判に申し出てください。

【試合の流れ】

- （1）チームの代表者によるジャンケンで先攻（赤ボール）、後攻（青ボール）を決めます。初戦に限りウォームアップとして、両チーム全員が2球ずつコートに向けて
- （2）
- （3）投球し、その後試合を開始します。2回戦以降はウォームアップなしで開始します。

- （2）赤の1番目の選手が、的となるジャックボール（白いボール）を投げます。ジャックボールが有効の場合、続けて同じ選手が1投目（赤ボール）の投球を行います。ジャックボールが※¹無効の場合は相手に権利が移り、青の1番目の選手がジャックボールを投げることになります。それぞれ審判が投球の指示を出します。

※¹無効とは・・・白ボールが「ジャックボール無効ゾーン」で止まったとき、もしくは、「コート外」に出てしまったとき。

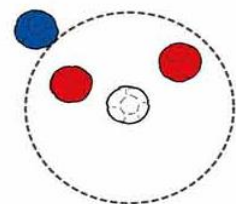
- （3）次に後攻チーム（ジャックボールの有効が無効かで決定）の1番目の選手が最初の投球を行います。

- （4）両チームの1番目の投球以降は、的（白いボール）からより遠い位置にボールを投げたチームの選手が、その次の投球を行います。このため、赤も青も続けて投球することがあります。

- （5）赤、青ともに6球ずつを投げた時点で得点を計算します。的（白いボール）に最も近いボールを投げたチームに得点が入ります。近いボール1球につき1点が与えられます。

●得点の決まり方

ジャックボールに一番近いボールを投げたチームが勝ち。



負けたチームのジャックボールに一番近いボールよりもジャックボールに近いボールがそれぞれ1点となる。（上の場合は赤が2点）

この一連の流れを『1 エンド』とし、各エンドの得点を加算し、合計点数の多いチームが勝ちとなります。ジャックボールの投球は第1 エンドが赤、第2 エンドが青とエンド毎に代わります。

【同点の場合】

(1) タイブレイクにより決定します。コート上のクロス位置にジャックボールを置き、先攻・後攻を決め行います。投球は1 チーム 1 投とし、ジャックボールに近いチームの勝ちとします。

(2) タイブレイクは、ゲームの勝敗をつけるものであり、合計点数に加算しません。

【予選リーグでの順位について】

・予選リーグは勝ち数で順位を決定します。勝ち数が同じ場合は、総得点数が多い方が上位となります。